

柴田町内会

長崎県大村市三城町

会 長
市川 徳夫さん



大村市中心部のほど近くにある三城町。古くは肥前西部を治めた戦国大名・大村純忠とその子喜前の居城だった三城城があった歴史ある土地です。この三城町内、約300世帯で活動しているのが柴田町内会です。この町内会は活動がとても盛ん。地域内にある二級河川の大上戸川を年4～5回清掃。本堂川のJR鉄橋そばまで、草取りやゴミ拾い、植栽などを行っています。「作業には60人以上が参加しています。これだけ町民がボランティアとして清掃などに参加してくれるのは、日々の活動の積み重ねだと思います。当初は川岸には洗濯機などの粗大ゴミなども多く、清掃するのに難航しましたが、町民の皆さんで力を合わせて、少しずつキレイにすることができました」と会長の市川徳夫さん。

8月には年に一度の夏祭り「柴田まつ

日々の活動の積み重ねで
地域の安心、安全を守っていききたい

り」を富松神社で開催。青壮年部が中心となって屋台の出店や抽選会など大いに盛り上がりました。「地域の子どもを交通事故から守る活動も平成17年の5月から始めました。町内で交通量が多い場所に有志が旗を持って毎日立ち、登校時に危険な目に合わないよう、指導しつつ見守っています」

柴田町内会では「自主防災」が今後の大きなテーマなのだから。「自分たちの町は自分で守れるよう、災害などに備えて自主防災組織を2年前に結成しました。本部長である会長を筆頭に、情報班は民生・児童委員が担当、救護班は地域・安全会代表、消火班は監事担当役員など、普段の活動の延長として組織しました。これからはもっと地域の皆さんと連携して町の安全を守っていききたいですね」と市川さんは語ります。

